

テーマ：『 自然とふれあいながら児童が生きる力をはぐくむことができる学校づくり 』

横浜市立 新吉田第二小学校

Tel. 045-592-6905

担 当 杉本 泉

者：



■実践内容：

早渕川クラブはペットボトルでいかだを作り、プールで浮かべた。本来ならば、学校の隣を流れる早渕川でいかだを浮かべる予定だったが前日の雨天で川の水量が増し、プールでの活動となった。ライフジャケットのおかげで安心していかだに乗ることができた。2年生は学校のプールで網を使いやごを救出した。教室でペットボトルの水槽を一人一つ作り小石や水草や木の枝を入れ、えさの赤虫をやりながら、羽化するまで大切に育てることができた。朝、教室に入るたびに羽化したとんぼがいないか探し、「いたよ！誰のとんぼだろう」と毎朝の楽しみになっていた。また、各クラスには水槽がありホテイアオイを浮かべメダカを始め様々な生き物を飼っている。実践成果：

早渕川クラブは、いかだを通し水辺での遊びの楽しさを実感できたようだ。水辺がより身近になり環境への意識の高まりにつながった。2年生は来年も学校のプールで会えるよう、最後に産卵場所を作り、来年の楽しみにしている。今の1年生も来年はやごを育て生き物のすばらしさを感じることだろう。

■実践ポイント：

身近な環境の中での活動を通し、子どもたちが実感で生き物のすばらしさを感じ取ることができるように工夫した。採集・飼育・観察がしやすいような用具をそろえた。